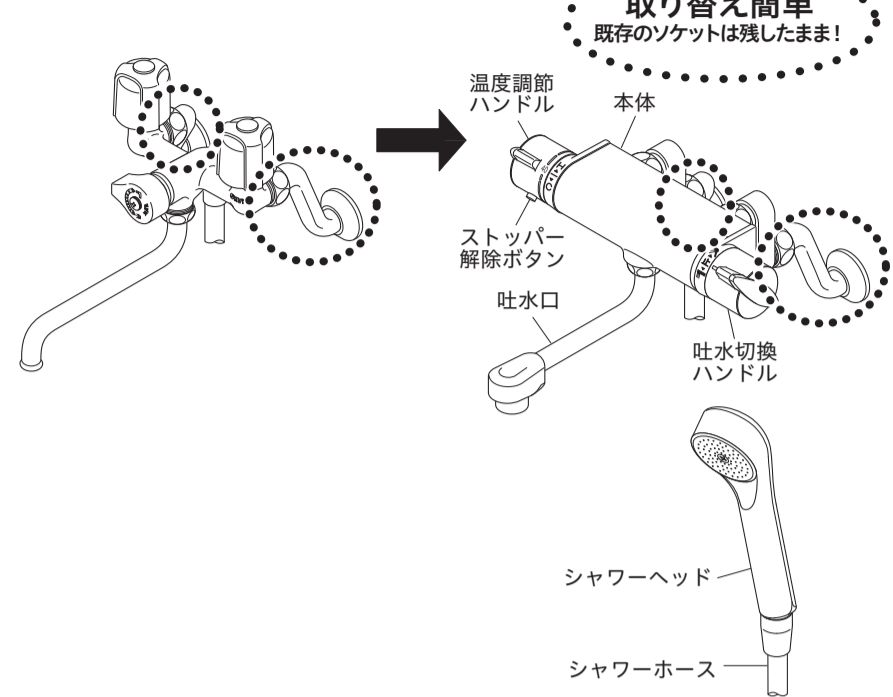


取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

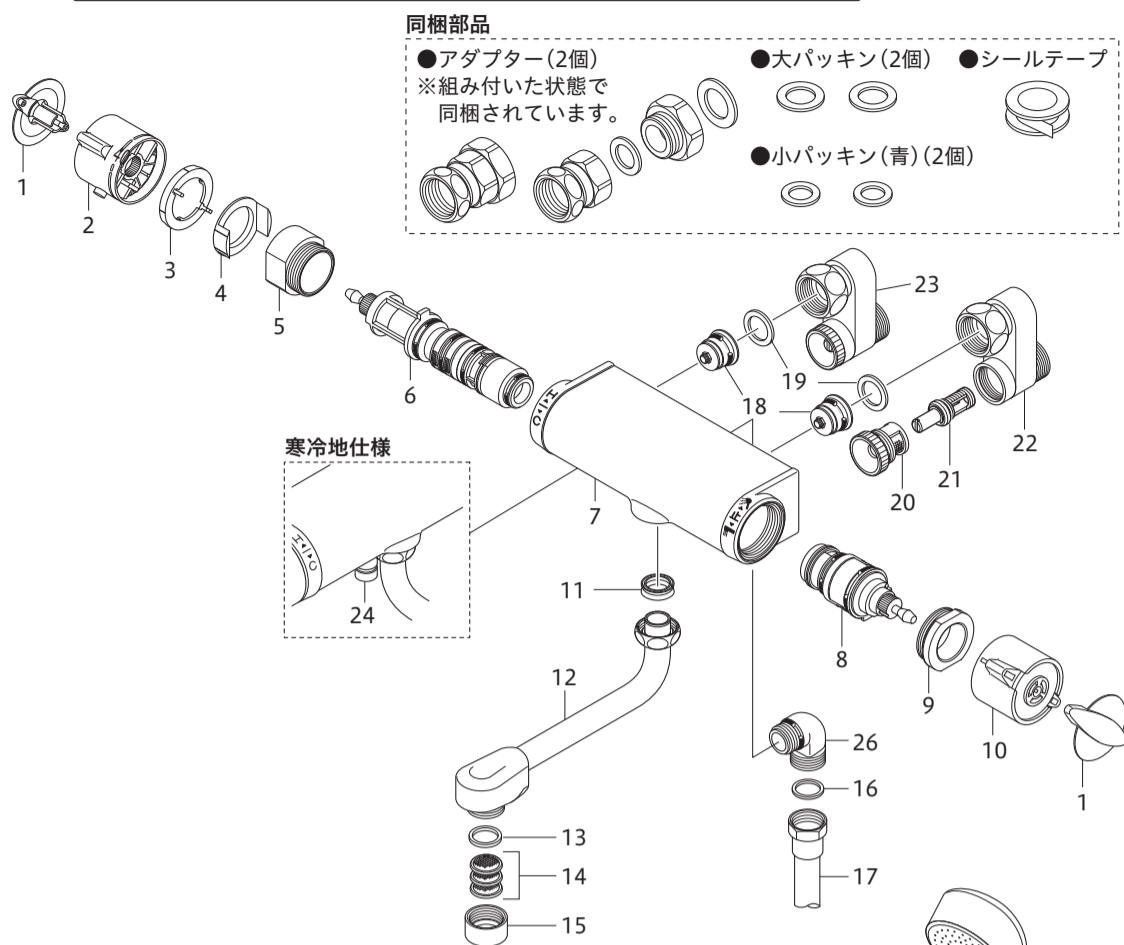
取り付け完成図と各部の名称 例：2ハンドルシャワー水栓



取り替え簡単
既存のソケットは残したまま!

分解図

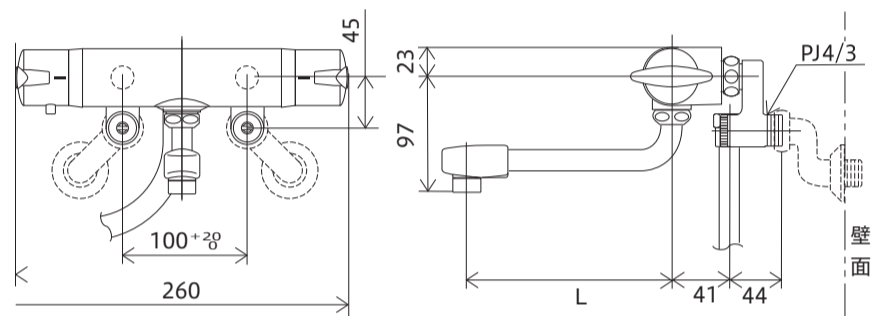
この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



1 キャップ	11 Xパッキン	21 止水弁
2 温度調節ハンドル	12 吐水口	22 水側ソケット
3 ノッチカラー	13 パッキン	23 湯側ソケット
4 セレクションリング	14 ストレーナ	24 水抜き栓
5 温調節ナット	15 整流器キャップ	25 シャワーヘッド
6 サーモスタットカートリッジ	16 小パッキン(黒)	26 シャワーエルボ
7 本体	17 シャワーホース	
8 一時止水付切換弁	18 逆止弁	
9 切換側ナット	19 パッキン	
10 吐水切換ハンドル	20 ストレーナ	

寸法図

	標準	R2
L寸法	150	240



アダプターを使用した場合は、前出寸法などが大きくなります。

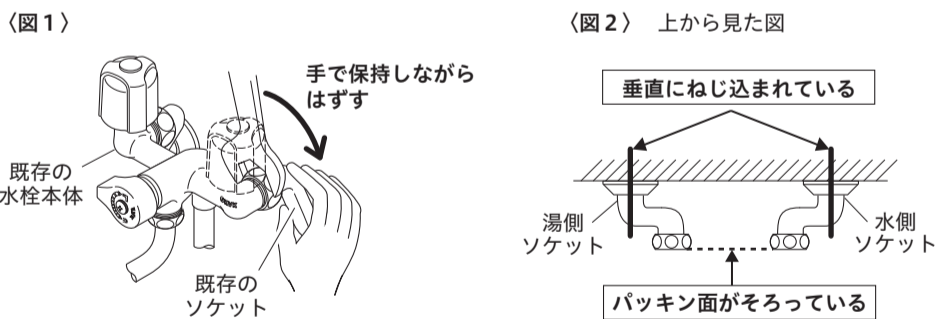
取り付け手順 (本製品は既存のソケットを付けたまま簡単に取り替えることができます。)

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

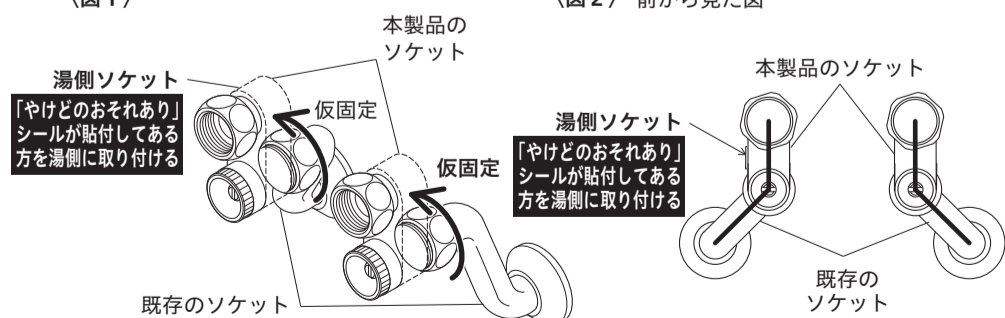
2 既存の水栓本体の取りはずし

既存の水栓本体を取りはずします。既存のソケットがゆるまないように十分手で保持しながらはずしてください。(図1) 【お願い】既存のソケットが壁に垂直にねじ込まれており、湯側と水側のパッキン面が段違いになっていないことを確認してください。(図2) 【注意】既存のソケット部に腐食、ひび割れ、漏水などのないことを十分に確認してください。腐食やひび割れがあると、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



3-1 ソケットと本体の取り付け

① 既存のソケットに本製品のソケットを仮固定します。(図1) 【お願い】「やけどのおそれあり」シールが貼付してあるソケットを湯側に取り付けてください。ソケットは図2のような形になるように取り付けてください。



アダプターを取り付けた場合は前出寸法などが大きくなります。既存のソケットの仕様によって、本製品のソケットと既存のソケットの間に付けるパッキンの大きさ、アダプターが異なります。(表1)を参照して取り付けてください。【注意】この時、古いパッキンを取りはずし、付属の新しいパッキンと必ず交換してください。交換されていないと漏水するおそれがあります。

3-2

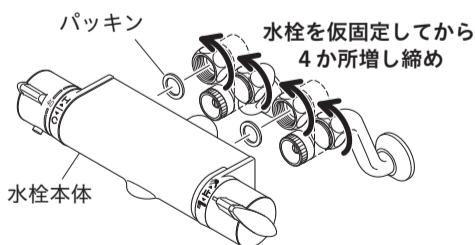
(表1)

現在お使いの水栓のソケット	接続に必要な使用部品
G3/4 KVK、TOTO、INAX、カクダイ、SAN-EI(ナット付)	大パッキンのみ 既存のソケット 本製品のソケット 大パッキン
G3/4 MYM(ナット付)	小パッキン(青)のみ 小パッキン(青)
G3/4 KVK、カクダイの一部(ナット無し)	大パッキンとアダプターの一部 大パッキン アダプター(ナットを一部はずす)
W30-20 KVKの一部(ナット無し)	大パッキンとアダプター(同梱状態) 大パッキン アダプター(同梱状態)

※2ハンドル混合栓専用です。上記以外のネジには接続できません。

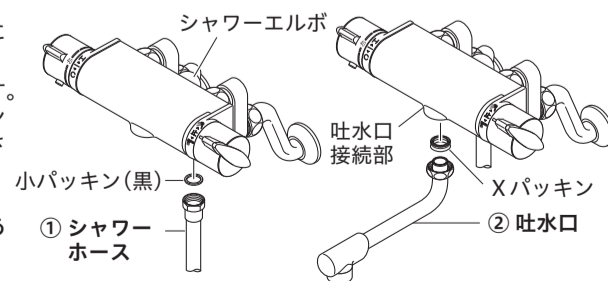
② 水栓本体を仮固定して本体が水平になったら、工具を使って増し締めします。①で仮固定した箇所も同様に増し締めします。

【注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



4 シャワーホースと吐水口の接続

① シャワーホースをシャワーエルボに接続します。② 吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。



5 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返して、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

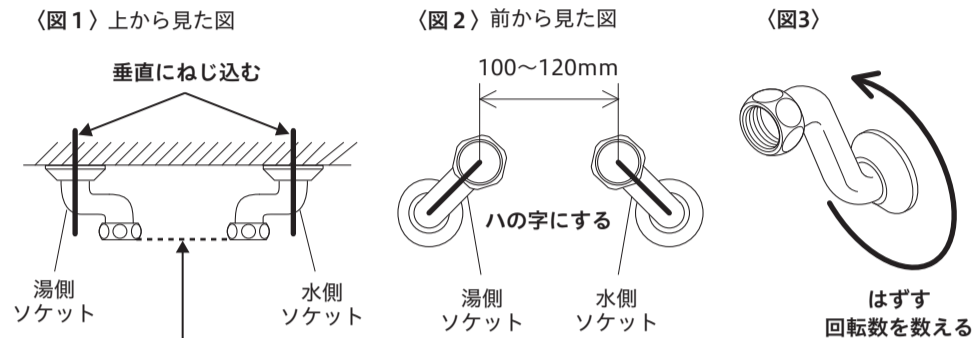
ソケットと壁の間から水漏れがある場合は既存のソケットを取り付け直します。その後取り付け手順 3より順番に取り付けてください。

既存のソケットの取り付け直し（水漏れがある場合）

- ① 元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 既存のソケットを取りはずし、給湯・給水管内を清掃します。
- ③ 既存のソケットを仮ねじ込みします。

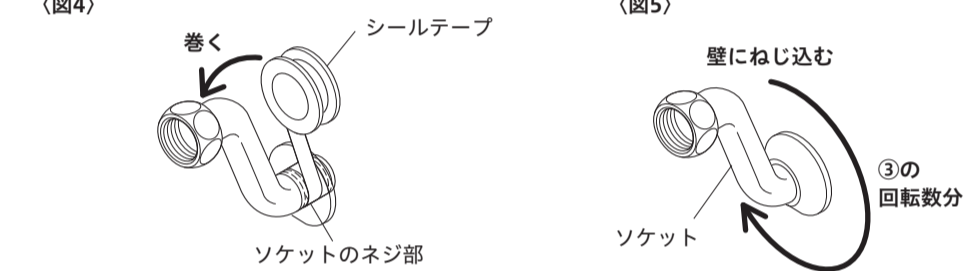
【お願い】

・ソケットは壁に垂直にねじ込み、湯側と水側のパッキン面が段違いにならないように取り付けてください。（図1）
 ・湯側と水ソケットを「ハ」の字形にして、間隔を100～120mmで取り付けてください。
 取り付け位置を確認して、ソケットを取りはずします。
 この時、ソケットを取りはずす回転数を覚えておきます。（図3）



- ④ ソケットのネジ部に、同梱のシールテープを巻いて（図4）、③で数えた回転数分壁にねじ込みます（図5）。

【お願い】ねじ込んだ部分がガタつく時はシールテープを多く巻いて調節してください。



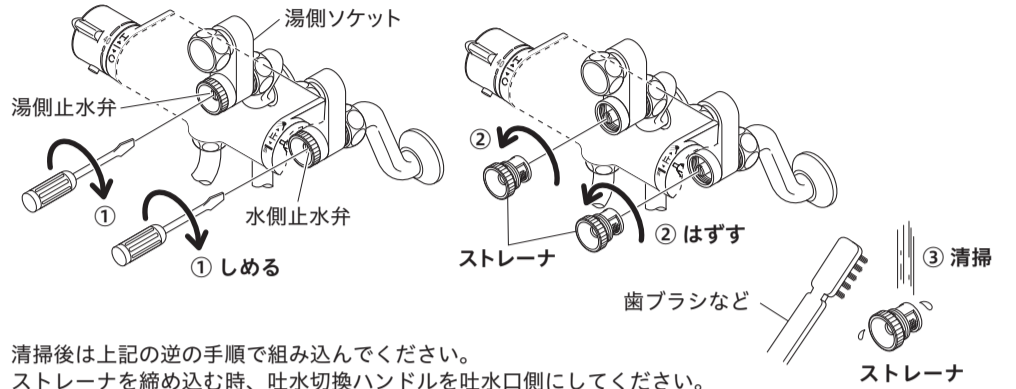
ストレーナ清掃のお願い

ソケットと吐水口のストレーナにゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

ソケットのストレーナ清掃

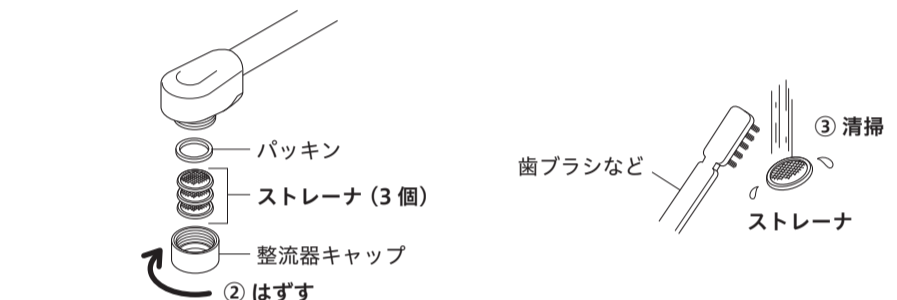
【△注意】・ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 湯側・水側のストレーナ[2か所]を取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流してください。



吐水口のストレーナ清掃

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
- ② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ③ ストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

取り付け後の点検と清掃2

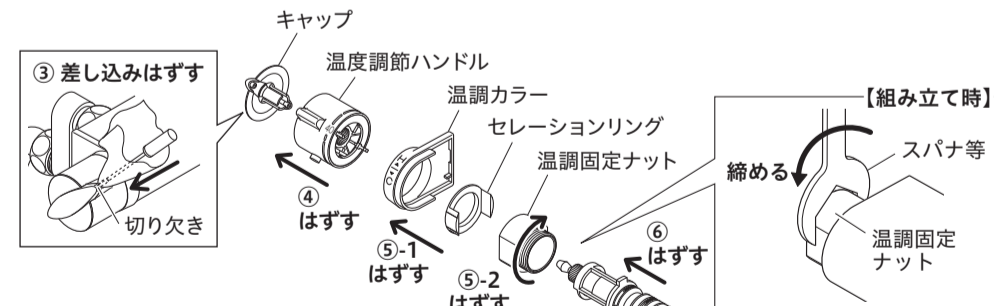
サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水アカ、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△注意】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

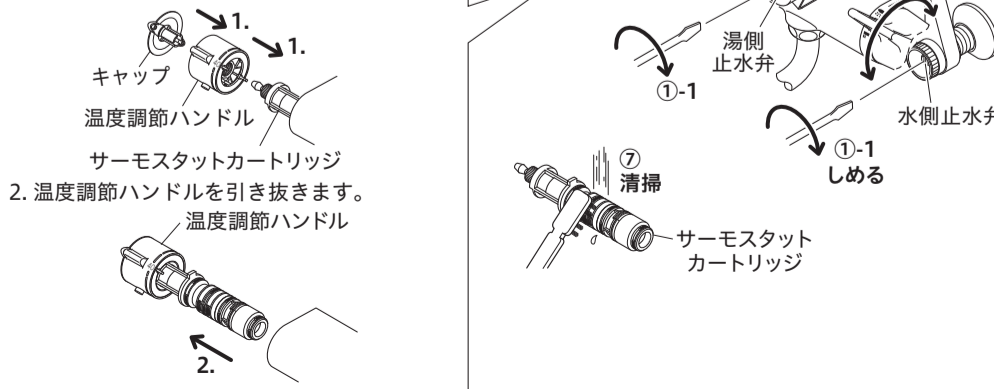
- ① 湯水両側の止水弁 [2か所] 又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。（切り欠きは温度調節ハンドル目盛「40」の真裏側のキャップにあります。）
- ④ 温度調節ハンドルをはずします。
- ⑤ 温調カラーをはずした後、温調固定ナットを取りはずします。
- ⑥ サーモスタットカートリッジを取りはずします。（はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。）
- ⑦ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



【はずせない場合】

1. 温調カラー、セレーションリング、温調固定ナットをはずした後、サーモスタットカートリッジに温度調節ハンドルとキャップのみを取り付けます。



温度調節ハンドルの設定方法

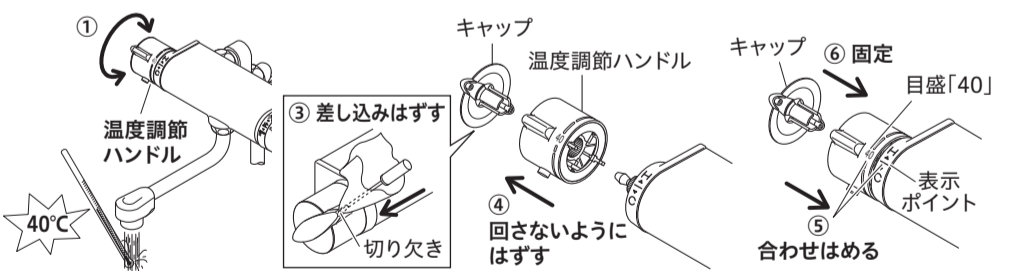
工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛がズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度50℃～60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

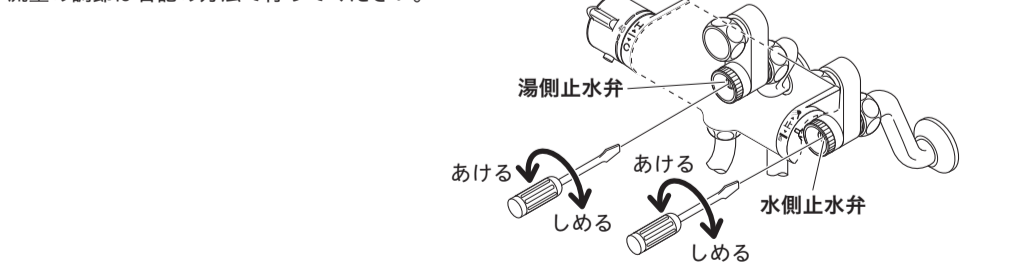
- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。（切り欠きは温度調節ハンドル目盛「40」の真裏側のキャップにあります。）
- ④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ⑤ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ⑥ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
 ※ 目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



故障かなと思ったら・・・

修理を依頼される前にお確かめください。

➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら・・・」参照

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。